



Tojinkyo

SSKA

春号・総会議案集
合併号

No.237・2022 5.15

おもな記事

NPO法人東腎協第17回総会議案…… 1

特集 東京都の透析患者における市民公開講座……………15

慢性腎臓病患者さんにこそ必要な水溶性ビタミン……………19



國領神社 千年乃藤 (東京都調布市)

 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

2021年度事業報告

1. はじめに

2021年度特定非営利活動法人東京腎臓病協議会（以下、東腎協）の活動は、新型コロナウイルス第3波の感染拡大の中で始まり、第4波アルファ株、第5波デルタ株、第6波ではオミクロン株と次々と変異株が猛威を振るい、東京ではほとんどの期間、「緊急事態宣言」が発令され「まん延防止重点措置」が実施される中での活動でした。その結果、一昨年度に続き各患者会、各ブロック、東腎協、全腎協の行事等で自粛をせざるを得なくなりました。一方で、総会、理事会等についてはWEBを利用したりリモート会議の形式で開催しました。

東腎協としては機関誌「とうじんきょう」5月号（No.233）に「透析患者における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関するQ&A」を緊急掲載し、透析患者が患した場合に重症化するリスクが高いことから積極的にワクチン接種を呼びかけました。また、東京都透析医会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医学会と連携し、情報共有を密にし、会員への情報提供及び患した透析患者の医療供給体制の確保に努めました。

東京都への2022年度予算要請は昨年同様リモートで行い、都議会ヒアリングでは人数を制限して参加、各種医療費助成制度の維持継続、CKD対策、新型コロナウイルス感染症に対する透析医療の諸問題について万全な対策で取り組んでいただくよう要請しました。

2021年5月に東京で開催を予定していた「全腎協50周年記念全国大会」は、新型コロナウイルス感染症が首都圏だけでなく、全国的に感染拡大を起こしたことから開催を延期し、2022年6月に50周年記念式典を開催することにしました。

2022年度は東腎協も創立50周年を迎え記念大会（10月30日）の開催を予定しています。50周年という大きな区切りの年の中、コロナ禍による患者会活動の停滞を払しょくし、新たな飛躍の年にするべく患者会活動に取り組んでいきます。

2. 透析患者をめぐる情勢

(1) 2020年末慢性透析患者の現状

- （全国の慢性透析患者の特徴）
- ① 2020年末慢性透析患者 347,671人（前年比3,031人増）
 - ② 2020年末透析患者の平均年齢 69.4歳（前年比0.39歳増）
 - ③ 2020年末新規導入患者の平均年齢 70.88歳（前年比0.46歳増）
 - ④ 2020年末の東京の透析患者数 33,521人（前年比482人増）

表1 2020年12月末 慢性透析療法の現状

（日本透析医学会資料）

透析施設数		4,493施設	6施設増
慢性透析者		347,671人	3,031人増
通院	血液透析等	306,243人	96.6%
	腹膜透析等	30,339人	3.3%
入院	血液透析等	30,339人	98.9%
	腹膜透析等	327人	1.1%
在宅血液透析		751人	0.2%
夜間透析		31,468人	0.1%
新規導入患者数		40,744人	141人減
死亡患者数		34,414人	228人減
導入平均年齢		70.88歳	0.46歳増
患者平均年齢		69.4歳	0.39歳増
最長透析者		52年4ヶ月	

表2 都道府県患者数上位（1～10位）

2020年12月末		前年比
1. 東京	33,521人	482人増
2. 大阪	24,171人	4人増
3. 神奈川	22,209人	230人増
4. 埼玉	19,675人	441人増
5. 愛知	19,077人	50人増
6. 北海道	16,370人	7人減
7. 千葉	16,006人	124人増
8. 福岡	15,649人	298人増
9. 兵庫	14,505人	389人増
10. 静岡	11,358人	6人減

(2) 透析患者の医療費をめぐる情勢

① 各種医療費助成制度の後退等について（地方における個人負担増）

2021年度東京都の公費負担医療制度について大きな変更はありません。しかし、他の道府県では、毎月一定の自己負担が発生している自治体があります。関東においても65歳以上の新規透析導入患者を助成制度対象としない自治体や院外処方を助成対象としない自治体があります。東京都も65歳以上の新規透析導入患者については「マル障」（心身障害者医療費助成制度）では助成対象外となつていますが「マル都」（東京都難病医療費助成制度・高額所得者を除く）により多くの患者は、自己負担がなく人工透析が受けられています。この制度は2022年度も継続し守っていかねければなりません。

医療保険制度では、後期高齢者医療制度で一定所得以上は1割負担から2割負担になること

が決定しています。後期高齢者医療制度については、多くの透析患者（透析患者は65歳から利用可能）が利用しています。負担割合が増えることで自治体の財政負担増が予想されることから公費負担医療制度の後退が懸念されます。

また、介護保険制度も負担割合の引き上げが議論されています。介護保険については、公的な助成制度がなく、介護老人保険施設や介護老人福祉施設でのホテルコスト（居住費や食費等）や一定の資産保有者への補足給付の廃止など、透析患者が高齢化し長期療養や介護支援が必要な患者が増加する中、利用者負担が出来ずサービスの利用できないケースが発生することが危惧されます。

② 診療報酬の改定について

2022年診療報酬改定（4月から改定）について、人工腎臓用特定保健医療材料（ダイアラライザー）や人工腎臓（慢性維持透析を行った場合の技術料）、外来医学管理料（検査費用）な

どについては、下げ幅は低いものの引き下げが行われました。夜間加算、休日加算、導入期加算（1、2）、障害者加算などについて変更はなく、在宅血液透析管理料の引き上げや在宅自己腹膜灌流（CAPD）モニタリング加算の新設など在宅治療に重点を置いた改定となりました。今後は、改定後の影響について注視していきます。

以下の項目について、診療報酬が新設されました。

1. 透析時運動指導等加算75点
運動指導を開始した日から起算して90日を限度として、透析中の運動療法（ベッド上で自転車トレーニングマシンでの運動等）について加算
2. 有床診療所療養病床入院基
本料 慢性維持透析管理加算
1日につき100点

有床診療所（19床以下の入院ベッドを持つ医療機関）療養病床に入院した場合に加算
（2014年から20床以上の病院で、基準1の療養病床で慢性維持透析管理加算が設定）

3. 在宅自己腹膜灌流指導管理料 遠隔モニタリング加算
月1回に限り115点
在宅で腹膜透析（CAPD）を行う場合に、自動腹膜灌流用装置（APD）に搭載された情報通信機器を活用し、注液量や廃液料、体重等の状態を継続的なモニタリングについて加算

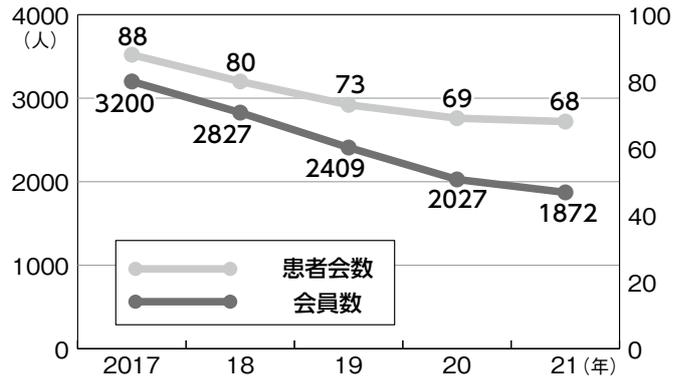
3. 東腎協の患者会の現状

(1) 患者、患者会の現状

① 2021年度患者会の動向について

患者会の現状は、新型コロナウイルス感染症による影響で、患者会総会、役員会、例会、学習会など会員、患者・家族等が参加する従来の対面形式の会議が開催できませんでした。さらに、透析患者の高齢化や後継者不足などから患者会活動の休止・解散などが増えてきました。その結果、2021年度期末会員数は1872人（前期比マイナス222人）となり2千人を大きく割り込みました。

表3 5年間の会員の推移（期末会員数）



東腎協としては、暫定的に組織としての患者会は残して個人会員へ移行し、機関誌の配布や会費の納入などは事務局が代行し対処してきましたが、患者会の維持継続はますます困難になってきました。一方、休会（解散）していた患者会が数年ぶりに十数名で再結成するという朗報もありました。将来の患者さんのために休会しても再結成のために「患者会」は残していくことが重要と思われる事例となりました。

②患者会は全腎協、東腎協運動の力ナメ

「いつでもどこでも誰でも安心して透析を受けられる医療体制」の維持・継続のためには、全腎協、東腎協の存在は欠かせません。その構成員である病院患者会・会員は東腎協の安定した運営を行うための財源を支える意味で大変重要です。高齢化による役員不足などいろいろな問題を抱えています。患者会活動でご心配なことがございましたら事務局や東腎協役員に気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

③未組織施設への新たな取り組み

本年3月に、東京都透析医学会長安藤亮一先生、東京都透析医会災害対策委員長花房規男先生、東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人酒井謙先生、菊地勘先生、三多摩腎疾患治療医学会理事長要伸也先生連名の推薦文を同封した、東腎協会長名での「NPO法人東腎協機関誌・入会パンフレット常備のお願い」の文書を約200の

会員施設（東腎協患者会のある68施設を除く）へ郵送しました。回答書には必要機関誌部数、入会パンフレット、ポスター掲示の可・不可、ご担当者など記入していただき、回答をいただくことをお願いしております。

東京都の透析施設（約400施設）の多くの施設に、東腎協機関誌、入会パンフ等が常備されることによって、多くの患者さんに東腎協、全腎協を知ってもらい将来的な会員増加に繋がることが期待したいと思えます。

4. 2021年度の事業報告

(1) ブロック・青年部・地域腎友会その他の活動報告

□東部、北部、中南部ブロック
ブロック長 古暮 宏

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大が続く、重症化、死亡リスクが高い私たち透析患者は3密を避け感染予防対策を徹底する必要があります。正会員、個人会員会議、勉強会、新

年会などの行事全てを実施することが出来ませんでした。会員減少の結果、現在のブロック体制を継続することは難しくなり、来年度から新たに23区ブロックとシスタートすることになりました。

2022年度活動として正会員会議を7月17日（日）に、個人会員会議を9月4日（日）に開催します。対面による会議かWEBによるかは今後のコロナ感染状況を見て決めたいと思います。また年度中に患者会員、個人会員合同の勉強会、親睦会を予定しています。

□多摩ブロック

ブロック長代行 横溝 久美子
2021年度も新型コロナウイルス感染症の拡大のため、予定していた正会員会議や個人会員交流会、学習会、新年会等すべての行事が中止となりました。しかし、多摩ブロック担当理事の会議を理事会の後リモートで行い、コロナ、患者会の状況などを情報交換しました。また、新年度に向けて正会員のスマホ、PC、

メール、ラインなどSNS環境を調査しました。まだ十分な集約はできていませんが、来年度は正会員リモート会議なども企画していきたいと思えます。

□青年部

青年部長 小林正和

○9月12日 全腎協青年研修会 (WEB開催) テーマ「透析者の就労について」大串智美さんが体験談を報告。

○11月28日 関東ブロック部長会議 (LINE会議)

○3月6日 全腎協青年委員会主催 腎臓病WEBサロン (WEB開催)

○東腎協青年部としての活動は、コロナ禍のため活動出来ませんでした。

□QOL向上委員会

委員長 古暮宏

透析患者の生活の質 (Quality of Life=略QOL) の向上に資するため「腎臓リハビリテーション」を中心的な課題として取り組みました。機関誌「とうじんきょう」10月号 (No.235)

で「コロナ禍におけるサルコペニア・フレイル対策を運動療法の視点から考える」という特集を、虎の門病院腎センター内科の星野純一先生に執筆をお願いしました。

また、「東京歩こう会」は新型コロナウイルス感染拡大が続き、重症化リスクの高い透析患者は3蜜を避け感染予防を徹底しなければならなかったため開催を見送りしました。

(2) NPO東腎協の活動報告

①東京都透析医会との連携

8月3日(火) 2021年度第1回東京都透析医会災害対策委員会がリモートで開催され、参加しました。コロナ陽性透析患者の受け入れが困難になっている状況であること、各透析施設にワクチン接種推進、隔離室の準備などをお願いしていることが報告されました。

また、2021年5月に改定された東京都福祉保健局発行の「災害時における透析医療活動マニュアル」の改定の重要なポイントの説明、本マニュアルの

周知徹底および区市町村の行政側と透析施設側災害担当者との顔合わせなどを目的とした研修会が東京都の事業として予算がついたことが報告されました。なお、本研修会は本年度、全ブロックで開催されました。

9月3日(金)には、災害時情報伝達訓練結果による「DIEMAS WEB机上訓練」がリモートで開催され、参加させていただきました。この訓練では、被災施設と受入施設の情報から、患者の受け入れ先を決定する操作を実際に操作し、現状のシステムの改善点について討議されました。

12月27日(月)の第2回委員会では、新型コロナウイルス性となった透析患者の受け入れ体制についての報告、DIEMASの現状と課題などの協議が行われました。また、要望していただきました「災害時における透析医療活動マニュアル」の改定に伴う患者向け講演会の実施については、本年3月26日に東京都、東腎協後援によるWEB公開講座が行われました。

②東京都予算要請

東京都への2022年度予算要請は、9月21日(火)リモートで行い、9つの大項目と16の小項目を要請し回答を得ました(機関誌「とうじんきょう」No.235秋号に要約を掲載)。

(要請9大項目)

1. 各種医療費助成制度等の維持継続について
2. 要介護透析者への支援強化について
3. CKD(慢性腎臓病)への取組について
4. 腎臓病患者の救急医療について
5. 透析医療の安全について
6. 患者中心の透析医療について
7. 透析患者への大災害対策について
8. 再生医療と臓器移植について
9. 就労支援について

③都議会各党とのヒアリング

8月31日 都民ファーストの会 東京都議団、都議会自民党、都議会公明党、都議会立憲民主党、共産党東京都議団と懇談しました。今年度は人数を制限し

て訪問し、各種医療費助成制度の維持継続、CKD対策、新型コロナウイルス感染症に対する透析医療の諸問題について万全な対策をしていただくよう要請しました（機関誌「とうじんきょう」No.235秋号に要約を掲載）。

④東腎協第9回大会

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止としました。

⑤第51次国会請願運動

第51次国会請願は、新型コロナウイルス感染症により、全腎協より一括して各都道府県紹介議員に郵送して国会へ提出をお願いしました。

東京の紹介議員は衆参厚生労働委員の石田昌宏参議院議員、土田慎衆議院議員（以上自民）、竹谷とし子参議院議員（公明）、川田龍平参議院議員（立憲民主）、宮本徹衆議院議員（共産）の5名の国会議員にお願いしました。東京の署名数は全腎協5,753筆（昨年7,052筆）、募金は596,740円（昨年

674,910円）でした。

(3) 社会貢献事業活動報告

①第40回臓器移植普及推進キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止としました。

②臓器移植推進グリーンリボンパレード

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止としました。

③第33回腎臓病を考える都民の集い

2022年3月20日（日）都民ホールにおいて無観客で録画撮影を行いました。動画配信は4/1～11/30まで東腎協ホームページで行います。録画撮影は講師の要伸也先生、中村未生先生、共催の東京都福祉保健局疾病対策課渡部ゆう課長、主催の東腎協からは戸倉会長ほか12名が参加し、ソーシャルディスタンスを取って行いました。

(4) 委員会活動報告

①政策行政委員会

委員長 古暮 宏

昨年度の政策行政委員会活動は、新型コロナウイルス蔓延の影響を大きく受け、予定していた計画の多くが実施できませんでしたが、最も重要な東京都への予算要望は透析患者に対する各種医療費助成制度の維持継続など16項目を要望しました。

2022年度も助成制度が維持継続される他、要望項目に一定の前向きな回答を得る事が出来ました。

また東京都議会各党派とのヒアリングを行い、予算要請内容を説明し協力をお願いしました。

②災害対策委員会

委員長 戸倉振一

昨年同様、東京都透析医学会災害対策委員会、東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会に参加し情報共有を行いました。今年度はさらに、大きな進展がありました。

これまで、区市町村と透析医

療機関の連携は一部の地域に限られていましたが、本年度の東京都福祉保健局発行の「災害時における透析医療活動マニュアル」の改定にともなう、その周知の研修会が、東京都から東京都透析医学会に委託され開催されたことにより、全ての区市町村で、行政側の担当課と透析医療機関側のリーダーの顔合わせが行われました。今後、本研修会で紹介された、先駆的な取組みや好事例を取りまとめた「災害時透析医療ネットワークの取組事例集（案）」を作成し、本年7月頃に福祉保健局のホームページに掲載して広く公開される予定です。

これにより、透析医療機関や行政担当者を交えた地域における災害時の透析医療体制のさらなる強化を目指しています。その他、東京都福祉保健局障害者施策推進部計画調整担当から、東京都の災害時要配慮者対策関連指針の改訂に伴う意見照会がありましたので、透析患者の対応の部分についての意見を提出しました。

新型コロナウイルス陽性透析患者の対応については、10月1日より、円滑な入院・転院調整のため、東京都新型コロナウイルス感染症情報システムを利用した病院間および病院・東京都新型コロナ入院調整本部間で情報共有を図ることとしています。

本年1月には酸素・医療提供ステーション（赤羽）に透析医療機能が付加されました。2月には、感染拡大にともない透析医療確保のための、重症度に応じた透析医療実施、コロナ陽性透析患者の外来維持透析実施のための「東京都新型コロナウイルス透析患者搬送受付」の運用についての研修会が行われています。このように東京都においては万全の対策をとって頂きました。

③総務委員会

委員長 須賀春美

定款第3章役員・その他（種別及び定数）第13条（1）「理事15人以上35人以内」を「理事5人以上35人以内」と改訂することを第174回理事会で承認し、第17回総会に提案します。

④広報委員会

委員長 板橋俊司

機関誌「とうじんきょう」No.233号からNo.237号まで4号発行した。ホームページの更新管理を行いました。

（各号の主な特集記事）

○5月号（No.233）

「新型コロナウイルスワクチン接種に関するQ&A」

著・菊池勘先生（日本透析医学会、腎臓学会、新型コロナウイルス感染症対策合同委員会委員長）

○7月号（No.234）

「コロナ禍におけるサルコペニア・フレイル対策を栄養の観点から考える」

著・伊藤明日香先生（東京医科大学病院栄養管理科）、宮澤靖先生（同 科長）、菅野義彦先生（東京医科大学腎臓内科主任教授）

○10月号（No.235）

「コロナ禍におけるサルコペニア・フレイル対策を運動療法の視点から考える」

著・星野純一先生（虎の門病院腎センター内科）

○1月号（No.236）

「誰もが必ず訪れる人生の最終段階について」

著・酒井謙先生（東邦大学医学部腎臓額講座）

（5）関連する他団体との活動

①全国腎臓病協議会

2021年度、2022年度理事として、東腎協から戸倉振一会長と板橋俊司事務局長が選出されました。

全腎協中長期運営委員会、社会保障委員会、災害対策委員会、組織対策委員会、広報委員会、50周年記念事業委員会の委員として活動しました。

②全腎協関東ブロック

関東ブロック会議は新型コロナウイルス感染症の拡大により、第90回～94回（6/5、8/28、10/2、12/18、2/19）はWEBによる会議を行い、各県の活動・組織状況、新型コロナウイルスの感染状況、関東ブロック担当全腎協理事の推薦などを行いました。

③東京難病団体連合会

東腎協から理事として参加されていた東難連理事長の榊原靖夫さんが長期入院のち本年1月7日にご逝去されました。この間古暮副会長がオブザーバーとして理事会に参加し対応しました。

コロナ感染予防のため総会、理事会ともWEBで開催、ピアカウンセリングの相談もオンラインで実施しました。東京都への予算要請、都議会各会派とのヒアリングを実施し12月9日に回答を得ました。なお来年度は、東腎協より理事として古暮副会長を推薦します。

（6）その他の事業報告

①はんぶん米

東京都が管理している「災害備蓄米『はんぶん米』」について、今年度は約30,000食を無償譲渡され、東腎協の指定する病院施設・患者会・個人会員、全腎協各県腎協に15,000食配布しました。

2022年度事業計画(案)

東腎協創立50周年に際し、守ろう透析医療、向上させよう透析患者のQOL(生活の質)

1. はじめに

2022年度特定非営利活動法人東京腎臓病協議会(以下、東腎協)は、創立50周年という大きな節目の年を迎えます。50年前私たち先人の命をかけた活動により東腎協は結成し、今日まで「いつでも、どこでも、誰でも安心して透析が受けられる医療体制」を堅持するために活動してきました。

本年も先人の意思を引き継ぎ現在直面している諸課題に取り組むとともに、創立50周年記念事業に取り組みます。具体的な事業は以下の通りです。

2022年10月30日(日)東腎協創立50周年記念大会が「主

婦会館プラザエフ」で開催します。実行委員会としては、10年毎に実施している「会員実態調査」及び「創立50周年記念誌」の発行、「記念式典・会員表彰」など対面での記念式典を開催します。

なお、2022年度も新型コロナウイルス感染症状況により、会員・患者の感染予防を第一とし、事業の一部変更や中止をすすめる可能性があります。

2. 「いつでも、どこでも、誰でも安心して透析が受けられる医療体制」の継続、全腎協・東腎協の組織強化を目指して

(1) 国への要望の窓口として全腎協の存続の重要性

①「いつでも、どこでも」透析医療が受けられる医療体制の継続。

② 医療保険制度における透析医療の患者負担限度額維持(特定疾病療養受療制度)。

③ 身体障害者福祉法に基づく腎機能障害者認定の継続。

(2) 東京都への要望窓口として東腎協の存続の重要性

① 東京都難病医療費助成制度(マル都)の継続。

② 心身障害者医療費助成制度(マル障)・福祉手当等の継続。

(3) 腎臓病患者の社会復帰・QOL向上に資する活動

① 東京都透析医会災害対策委員会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医学会等との連携・災害対策の推進。

② CKD予防啓発(都民の集い)・臓器移植対策(臓器移植キャンペーン)・医療機関

との協力。

③ 厚生労働省がとりまとめた「腎疾患対策検討会報告書(H30.7)「腎疾患対策のさらなる推進を目指して」の達成すべき目標の東京都での推進。

④ 「災害時における透析医療活動マニュアル」(東京都福祉保健局2021年改訂)の各地域での具体化。

⑤ 透析患者の生活の質(QOL)の向上に資するため、「腎臓リハビリテーション」が必要な患者が必要な時に受けられるための取り組み。

⑥ 運動療法の一環として「東京歩こう会」の開催。

⑦ 新型コロナウイルス、安全な医療体制、透析患者のワクチン接種についての情報収集と腎臓病患者への情報発信の取り組み。

(4) 人生の最終段階に透析患者が望む医療とケアの推進

① 人生の最終段階に透析患者が望む医療とケアが受けられる

7  No.237/2022年5月

ような医療体制構築のための
要望活動への取り組み。

- ② 人生の最終段階の医療とケア
について、患者にとつて最良
の選択を行うために繰り返し
話し合うプロセスである共同
意思決定 (shared decision
making : SDM) と本人が家
族等や医療・ケアチームと事
前に繰り返し話し合うプロセ
スであるアドバンス・ケア・
プランニング (advance care
planning : ACP) について学
習会の開催。

3. 患者会の存続・強化を 目指して

- (1) 患者会を存続させていく
ため、必要な対策を推進
します。

必要な対策

- ① 病院患者会活動への支援 (機
関誌の配布・会費集金などの
代行)。
- ② 個人会員の会費、企業・団体
の協賛金、寄付金等による安
定収入確保への取り組み。
- ③ 腎臓病患者のQOL向上のた

め、患者の体験 (機関誌、H
P等で発信) を通じて、社会
的認知の向上と患者から必要
とされる団体を目指す取り組
み。

- ④ 透析歴が初期、中期、長期、
年代別の交流と親睦を深める
機会を増やす取り組み。
- ⑤ 移植者 (経験者) ・保存期の
患者への活動の輪を広げる取
り組み。

(2) 未組織施設への取組み

東京都透析医会、東京都区部
災害時透析医療ネットワーク、
三多摩腎疾患治療医会にご支援
いただき「NPO法人東腎協機
関誌・入会パンフレット常備の
お願い」文書を約200施設 (東
腎協患者会のある68施設を除
く) へ郵送し東腎協の活動を理
解してもらうための取り組み。
東京都の透析施設 (約400
施設) の多くの施設に、東腎協
機関誌、入会パンフ等が常備さ
れることよつて、多くの患者
さんに東腎協、全腎協を知つて
もらい、将来的な会員増強への
取り組み。

4. 2022年度の 事業計画

(1) 社会貢献事業

- ① 「第40回臓器移植キャンペー
ン」
10月2日 (日) に井の頭恩賜
公園で東京都と共催で開催。

- ② 臓器移植推進グリーンリボン
パレードの開催
今年度も東腎協も参加する

「臓器移植推進連絡協議会 (臓
器移植推進グリーンリボンパレ
ード) の開催。

- ③ 東京都への「2023年度予
算要請」
8月に東京都へ「2023年
度予算要請」を行います。行政
・政策委員会を中心に要請内容
をさらに深めます。

- 1. 各種医療費助成制度の維持
継続
2. 要介護透析者への支援強化
3. CKD (慢性腎臓病) 予防

への取り組みの推進

- 4. 腎臓病患者の救急医療対応
について
- 5. 透析医療の安全確保につい
て

- 6. 透析患者の地震を中心とし
た大規模災害発生時の対策
について
- 7. 再生医療の早期実現と臓器
移植の普及推進について
- 8. 腎臓病患者の就労支援につ
いて
- 9. 透析導入の見合わせ、治療
の中断について

- ④ 第52次国会請願署名活動

全腎協主催で50年間継続して
いる「国会請願署名活動」は、
今後も継続し取り組みべき重要
な活動です。地道に確実に取り
組み、国とのパイプを維持すべ
き活動として取り組みます。署
名活動の取り組み、期間は20
22年10月から2023年1月
までとします。

- ⑤ 腎臓病を考える「第34回都民
の集い」の開催

広く一般市民に腎臓病の早期

発見、早期治療を啓蒙するため、2023年3月に「第34回腎臓病を考える都民の集い」を東京都と共催で開催します。マスコミ・医療施設・公共施設等への宣伝を強化して。今まで以上の取り組みを目指します。(動画配信については検討)

(2) 首都圏大災害への対策

①東京都透析医会災害対策委員会、区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医会との連携

東京都透析医会が運用する、緊急時透析情報共有マッピングシステムTokyoDIEMASのデータを活用した、患者ポータルサイトの運用実現に向けた取り組みを進めます。

②「災害時における透析医療活動マニュアル改訂版」(東京都福祉保健局)

○改定の具体的な内容について
機関誌、学習会等で広報活動への取り組み。

○「東腎協災害対策マニュアル」、災害手帳の改訂および必要な

対策への取り組み。

○医療者サイドの区市町村ごとの災害対策の進捗状況について情報収集への取り組み。

③東腎協の災害対策として「患者会会員名簿」の更新・作成と、災害時緊急連絡網の整備

(3) 広報活動

①機関誌発行年4回を堅持する
機関誌「とうじんきょう」を1、5、7、10月の4回発行。

②ホームページの管理・更新

HPはイベントやお知らせの情報を遅滞なく細かく掲載し、メールでの問い合わせや資料請求などに迅速な対応。また、慢性腎臓病(CKD)患者向けの情報発信を充実し、個人会員入会への促進のための取り組み。

③対外的広報活動を強化する

新聞、テレビ、ラジオなどに東腎協が主催する事業の広報活動と医療施設や関係団体への情報提供の強化。

④広報の営業活動を強化する

東腎協の活動を理解いただき協力いただく、賛助会員の増加に取り組み、バックアップ体制の強化を目指します。

⑤慢性腎臓病(CKD)患者の入会を強化します

透析導入前の腎臓病患者の入会を強化し、腎臓病患者のグループ化を目指します。

(4) 事務局・組織活動

①総会・理事会・正会員会議

1. 第17回総会は6月5日(日)東京都障害者福祉会館(田町)で開催します。新型コロナウイルスの感染症状況によっては、昨年同様リモートによる総会と書面評決で行います。

2. 理事会開催は原則的に毎月開催します(8、12月は必要に応じて開催)。

3. 三役会議(会長、副会長、事務局長)を毎月開催します。なお、必要に応じて拡大三役会(三役、ブロック長、各委員会委員長)を開

催します。

4. ブロックごとに正会員会議、個人会員会議を開催します。

②事務局体制の強化

事務局は現在3人で運営しています。厳しい財政事情の中ではありますが、有効的な財政運営を心がけ、健全財政に向けて努力します。広報、財務、組織管理など会員、役員さんの個人能力や経験を積極的に活用します。

③ブロック体制の強化

今年度より23区ブロックと多摩ブロックの2ブロック体制とします。会員・役員の皆様のご協力を得ながら組織の強化を図ります。

④QOL向上委員会

透析患者の生活の質(QOL)の向上に資するため、「腎臓リハビリテーション」を中心とした取り組みをします。
2022年度はワクチン接種の進展、経口薬の普及などにより、新型コロナウイルスの感染

も収束に向かう事が予想されていますので「東京歩こう会」を是非再開したいと思えます。開催時期は感染状況を見ながら決定したいと思えます。再開第一回は立川市の「昭和記念公園」内のウォーキングコースを予定していますので多数ご参加下さい。

またQOL向上委員会の新しい試みとして、「趣味の会」「釣り」「うたごえ」など会員皆様と親睦を深めお楽しみいただけるような催しも企画したいと思えます。会員皆様のご要望も聞かせたいと思いますので宜しくお願ひします。

⑤ 青年部活動

全国各県の青年部と情報を共有し、青年層の把握など基本的な活動から見直していきます。

○全腎協青年研修会及び関東ブロック青年交流会への参加
○東腎協青年部主催のイベントの開催（コロナの感染状況により時期内容方法等は未定）

青年部では部員になりたい方

を随時募集中です。（50歳未満の会員の方）東腎協事務局までご連絡下さい。

(5) その他の事業活動

① 関連する他団体との共同事業を積極的に推進します。

② (社) 全腎協・NPO東難連と協働し、一般市民へ腎臓病の予防や検診について広く啓蒙活動を行います。

③ 福祉・移送相談推進事業、腎臓病患者の食事療法に関する事業など腎臓病患者の自立支援のための活動を行います。

(6) 東腎協創立50周年記念事業委員会

2022年10月30日(日) 東腎協創立50周年記念大会を「主婦会館プラザエフ」で開催します。実行委員会としては、10年毎に実施している「会員実態調査」「創立50周年記念誌」の発行「記念式典・会員表彰」など対面での式典を予定しています。

第3号議案 2022年度役員選出

(新理事)

○大友 晴雄 (西クリニックひまわりの会)

(退任理事)

○榎原 靖夫 (高中腎友会)

第4号議案 定款改訂について

定款第3章 役員・その他(種別及び定数) 第13条(1)「理事15名以上35名以内」を「5名以上35名以内」と改訂する

現 行	改 正 案
第1条から第12条 略 第3章 役員・その他 (種別及び定款) 第13条 この法人に、次の役員を置く。 (1)理事15人以上35人以内 (2)監事1人以上2人以内 2 理事のうち1人を会長、1人以上4人以内を副会長とする。 第14条から第59条 略	第1条から第12条 略 第3章 役員・その他 (種別及び定款) 第13条 この法人に、次の役員を置く。 (1)理事5人以上35人以内 (2)監事1人以上2人以内 2 理事のうち1人を会長、1人以上4人以内を副会長とする。 第14条から第59条 略

【2022年度東腎協役員体制】

会 長 戸倉振一

(全腎協理事、災害対策委員長、東腎協50周年記念事業委員長)

副会長 古暮 宏

(政策行政委員長、QOL向上委員長、東難連理事)

副会長 酒井 豊

(全腎協社員代表、予算委員長)

副会長 須賀春美

(総務委員長)

事務局長 板橋俊司

(全腎協理事、広報委員長)

事務局次長 三好かおり

(財務担当)

23区ブロック長 古暮 宏

多摩ブロック長 横溝久美子

23区ブロック担当理事

金井憲信、長澤浩、野口忠男、

松本茂利、丸山春良、成田哲也、大友晴雄

多摩ブロック担当理事

岡田和友、小林正和、関口新

一、根津恵子

監 事 山口登、梅原秀孝

相談役 金子智

相談役 金子智

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	金 額	額	額
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	23,132,106		
未収金	10,000		
流動資産合計	23,142,106		
固定資産			
什器備品	3		
保証金	585,000		
固定資産合計	585,003		
資産合計		23,727,109	
【負債の部】			
流動負債			
未払金	0		
前受金	108,000		
預り金	880		
流動負債合計	108,880		
負債合計		108,880	
【正味財産の部】			
正味財産		23,618,229	
(うち当期正味財産増加額)		△1,550,861	
負債及び正味財産合計		23,727,109	

財 産 目 録

2022年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	金 額	額	額
【資産の部】			
流動資産			
現金手許有高	8,991		
郵便振替(南大塚郵便局)	12,347,611		
ゆうちょ銀行(南大塚郵便局)	13,377		
普通預金(三菱UFJ銀行)No.1	1,295,400		
普通預金(三菱UFJ銀行)No.2	966,727		
定期預金 三菱UFJ銀行	7,500,000		
ゆうちょ銀行 (定期預金)	1,000,000		
未収金	10,000		
流動資産合計	23,142,106		
固定資産			
什器備品	3		
保証金	585,000		
固定資産合計	585,003		
資産合計		23,727,109	
【負債の部】			
流動負債			
未払金	0		
前受金	108,000		
預り金	880		
流動負債合計	108,880		
負債合計		108,880	
正味財産額		23,618,229	
(うち当期正味財産増減額)		△1,550,861	
負債及び正味財産合計		23,727,109	

2021年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支報告書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

	2021年度決算	2021年度予算	予算比	
(1)会費収入	10,652,300	11,800,000	90.3%	
会費収入	9,857,300	10,800,000	91.3%	
賛助会費収入	795,000	1,000,000	79.5%	65件（1件は新規で半期）
(2)事業収入	282,574	284,600	99.3%	
提携手数料収入	3,024	1,000	—	丸大食品ギフト販売
都民の集い事業収入	100,000	100,000	100.0%	都民の集い動画作成助成
「ぜんじんきょう」 発送費助成	179,550	183,600	97.8%	全腎協より助成
(3)寄付金収入	739,380	800,000	92.4%	
寄付金収入	131,000	100,000	131.0%	扶桑薬品
募金収入	608,380	700,000	86.9%	国会請願募金
(4)その他の収入	1,291,466	1,760,000	73.4%	
受取利息収入	144	0	0.0%	預金利息
資料印刷代収入	2,662	10,000	26.6%	患者会等資料印刷代
物品販売収入	157,500	100,000	157.5%	透析バンザイ
関東ブロック東京収入	0	0	0.0%	関東ブロック助成金を含む
全腎協特区	0	200,000	0	
雑収入	78,160	0		
機関誌広告収入	1,053,000	1,450,000	72.6%	機関誌広告折込、HPバナー、名刺広告他
収入合計	12,965,720	14,644,600	88.5%	
(1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	3,133,556	4,382,000	71.5%	
腎移植キャンペーン事業	0	300,000	0.0%	運営諸費用
都民の集い事業	241,175	200,000	120.6%	運営諸費用（動画作成など）
機関誌発行事業	2,457,976	2,545,000	96.6%	機関誌制作・印刷・発送費用
ホームページ管理事業	323,950	192,000	168.7%	保守管理運営費用
知識の普及事業	110,455	1,145,000	9.6%	ブロック活動、各委員会諸活動
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	0	0		
自立支援事業	0	0	0.0%	
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	5,554	50,000	11.1%	
都庁予算要請事業	5,554	50,000	11.1%	予算要請行動他
(4)関連他団体との協同事業	3,540,409	3,895,000	90.9%	
国会請願事業	89,511	105,000	85.2%	全腎協へ15%上納他
全腎協他に協力する事業	3,450,898	3,790,000	91.1%	全腎協分担金（機関誌買取分¥140,600を含む）、東難連活動費（49,000）等
(5)福祉移送相談推進事業	0	0	0.0%	
福祉移送事業	0	0	0.0%	
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業	0	0	0.0%	
低蛋白米の広報事業	0	0	0.0%	
小学校食育指導事業	0	0	0.0%	
(7)腎臓病患者の災害対策事業	2,948	120,000	2.5%	
災害対策訓練事業	2,948	120,000	2.5%	災害対策委員会セミナーのチラシ
事業費合計	6,682,467	8,447,000	79.1%	
給料手当	2,040,000	2,040,000	100.0%	固定給
雑給	1,178,127	1,392,000	84.6%	変動給
法定福利費	14,411	30,000	48.0%	労働保険料
通勤交通費	440,610	500,000	88.1%	3名分
保険料	0	0	0.0%	火災保険
事務局家賃	1,980,000	1,980,000	100.0%	家賃
什器備品費	842,307	685,000	123.0%	リース料金
水道光熱費	145,538	150,000	97.0%	
通信運搬費	602,387	720,000	83.7%	会員・患者会宛通信費
支払手数料	64,614	78,000	82.8%	振込手数料等
会議費	42,350	150,000	28.2%	理事会交通費、役員会
事務局管理費	0	0	0.0%	来期より掲載
事務局運営費	148,728	100,000	148.7%	
事務用消耗品費	191,576	460,000	41.6%	
慶弔交際費	16,500	50,000	33.0%	榊原理事
消耗品費（透析バンザイ）	126,966	0	—	透析バンザイ発送資材
雑費	0	0	0.0%	
管理費合計	7,834,114	8,335,000	94.0%	
支出合計	14,516,581	16,782,000	86.5%	
収支差額	△ 1,550,861	△ 2,137,400	72.6%	
次期繰越収支差額	23,618,229	25,169,090	93.8%	2021年度期首繰越金25,169,090円

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計 予算案

勘定科目		金額	内 訳
収入	会費収入	9,720,000	会員数1,800名
	賛助金収入	800,000	
	提携手数料収入	1,000	丸大食品ギフト販売
	募金収入	600,000	国会請願募金等
	寄付金収入	2,000,000	50周年に関する寄付金
	資料印刷代收収入	0	
	物品販売収入	0	
	広告料収入	1,130,000	機関誌広告料、HPバナー広告等
	都民の集い協賛収入	100,000	全腎協補助金
	全腎協会報発送費収入	183,600	全腎協補助金
	全腎協特区チャレンジ	100,000	全腎協補助金
	50周年事業補助金	150,000	全腎協補助金
	受取利息	0	
	雑収入	10,000	資料印刷代收収入
	収入合計	14,794,600	
事業費	腎移植キャンペーン	300,000	井の頭公園
	都民の集い	200,000	
	機関誌発行事業	2,450,000	機関誌「とうじんきょう」発行
	ホームページ	60,000	更新料等
	組織活動費	3,875,000	ブロック活動、青年部、総会、50周年費用等
	QOL向上事業	65,000	東京歩こう会等
	全腎協大会参加費	0	
	関東ブロック	50,000	
	国会請願募金	90,000	全腎協へ募金の15%
	低蛋白米広報	0	
	災害対策事業	120,000	委員会、ポータルサイト運営等
	他団体との提携	41,000	東難連会費、障定協等
	全腎協協力金	3,240,000	1,800名 @150円/月
事業費合計	10,491,000		
管理費	給料手当	2,040,000	事務局人件費（固定給）
	雑給	1,380,000	事務局人件費（変動給）
	通勤交通費	510,000	通勤定期代
	法定福利費	15,000	労働保険料
	損害保険料	20,000	火災保険
	事務局家賃	2,156,000	165,000円/月、更新料手数料
	リース料	780,000	印刷機器リース料
	事務局管理費	295,000	αメール、サーバー、インターネットセキュリティ
	水道光熱費	135,000	
	通信運搬費	600,000	配送料等
	支払手数料	78,000	送金手数料等
	会議費	150,000	理事会交通費等
	事務局運営費	70,000	
	事務用消耗品費	210,000	
	慶弔交際費	50,000	
	租税公課	0	
	雑費	50,000	
管理費合計	8,539,000		
支出合計	19,030,000		
収支差額	△4,235,400		
次期繰越収支差額	19,382,829	2022年度期首繰越額23,618,229円	

監査報告書

2022年 4月 14 日

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 戸倉振一殿

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会

監事 山口 登



監事 梅原 秀孝



私たちは、2021年4月1日から2022年3月31日までの会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、月次の報告書を確認し、又理事等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務の執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

東京都の透析患者における 市民公開講座

3月26日(土)に東京都の透析患者における市民公開講座「災害に向けて皆さんにできること、災害時に皆さんが行うこと」(東京都透析医会災害対策委員会委員長 花房規男先生)の概要をまとめましたので災害時の備えとして参考にしてください。

首都直下型地震の被害想定を考

えると、透析難民が多数出てしまうことが懸念され、対策が急務となつていきます。自然災害としては、

水害・台風(江東5区の水害予測では、250万人が影響を受けると言われています)、雪害による交通障害があります。その他に、大規模停電(ブラックアウト)、テロ被害などがありますが、地震への対策を基にして対応していきます。

東京都福祉保健局が「災害時における透析医療活動マニュアル」を作成しています。これが、東京都の災害対策の原本となります。初版は阪神淡路大震災を教訓として平成9年に作成され、これまで平成13年、平成18年、平成26年に改定されてきました。今回は令和3年5月に改訂(第5版)になり、

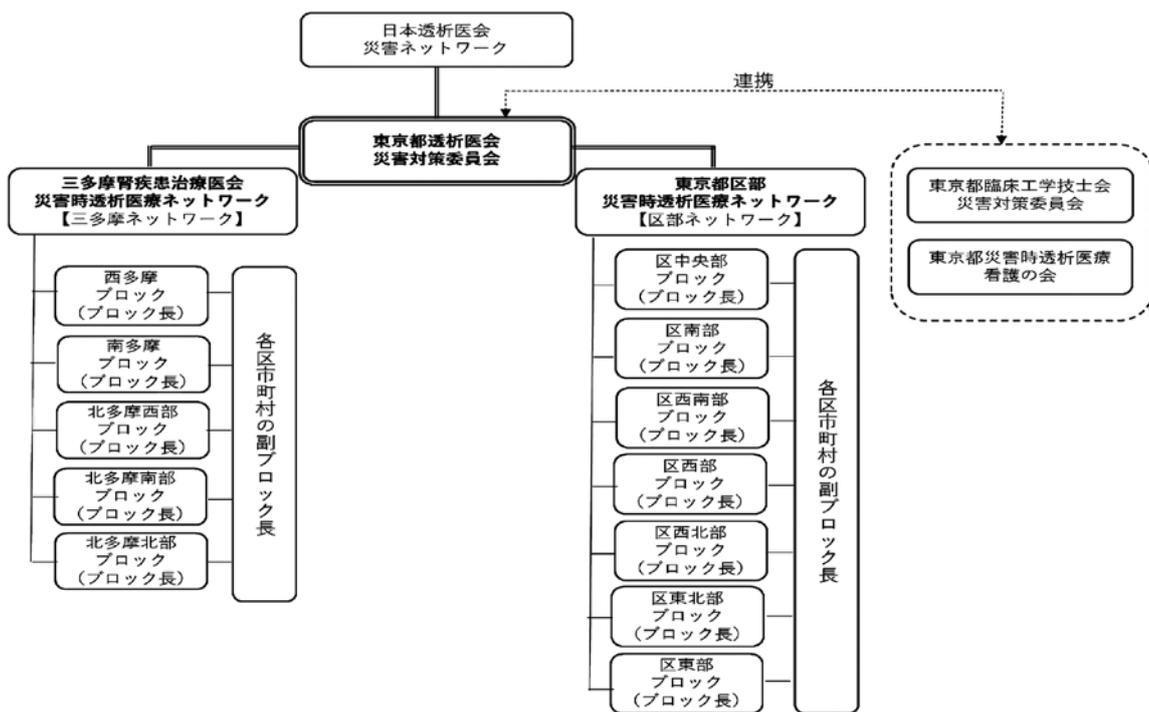
主に東京都の災害時の体制の変更がありました

変更の要点は次の通りです。

- ① 医療者の組織が改編された。
—従来は都区部と三多摩地域に分かれて活動していましたが、東京都透析医会を中心とした連絡体制に整理された。
- 看護師、臨床工学技士の会との連携が明記された。
- 副ブロック長(区市町村単位の医療者の代表)が任命された。
- ② 避難所での対応をどのようにするかが明記された。
- ③ 透析用水の確保に向けた支援要請の流れが整理された。
- ④ 透析医療機関と行政(区市町村等)とが、どうすれば適切な支援が行えるかについて記載が充実した。

第1章 災害時の透析医療確保に向けた対策

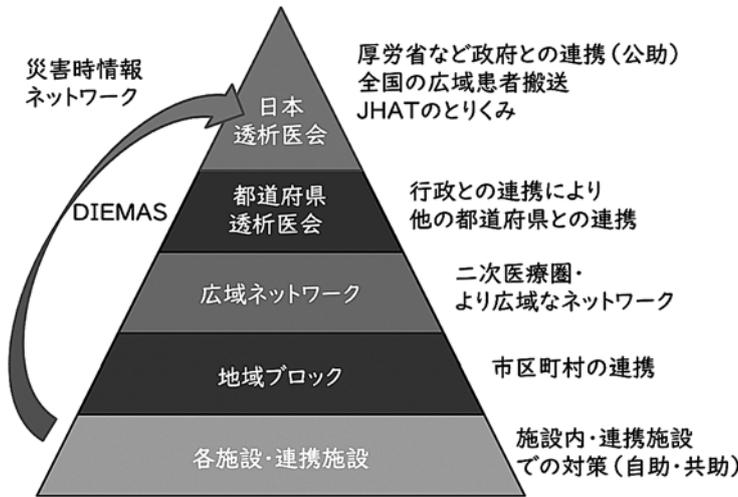
都内で災害が発生した時の対応
下図が東京の災害時透析医療ネットワークの組織図になります。
東京都透析医会災害対策委員会が



東京の災害時透析医療ネットワーク

日本全体での情報共有体制

情報伝達のピラミッド(集約と共有・周知)



～ JHATとは ～

日本災害時透析医療協働支援チーム (Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster : JHAT) とは、透析医療を継続可能にするために日本透析協会、日本臨床工芸士会、日本腎不全看護協会、日本血液浄化技術学会により組織された医療チームです。

これまでの災害において、透析医療の提供が困難となった施設が多数発生しました。透析患者さんは、透析可能な施設に殺到したため、対応スタッフは不眠不休の透析医療を提供しました。透析医療を継続させるためには、透析医療を支援するマンパワーや日常生活のための物資支援が必要不可欠です。JHAT は業務支援や物資支援のトレーニングを受けた隊員により透析医療に関わる様々な支援を実施します。透析業務経験5年以上の看護師、臨床工芸士が隊員登録できます。

発足したことにより、区部・三多摩ネットワークの連携、東京都臨床工芸士会、東京都災害時透析医療看護の会との連携が明記されました。また、副ブロック長(区市町村に1名) が設置され任命されています。

日本全体での情報共有体制

日本全体での災害時透析医療ネットワークにおける情報の集約と共有・周知のピラミッドは左図に示すようになります。基本になる

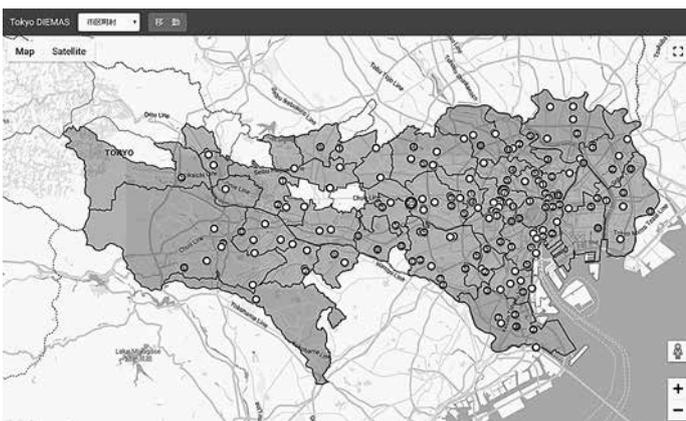
のが透析施設の自助・共助で、施設内、連携施設での対策になります。その上に市区町村の連携(地域ブロック) があり、さらに二次医療圏より広域なネットワークがあります。都道府県透析医会は、行政との連携により他の都道府県との連携を行います。厚生労働省など政府との連携、全国の広域搬送、JHATの取り組みは、日本透析医会が行います。

透析患者にとって最も大切なこと

透析医療機関との連絡と避難所等では透析を受けていることを名乗ることです。まず、通院先の透析医療機関に連絡し、ご自身の被災状況の報告、透析が可能か・不可能かの情報を得ます。通院先の医療機関が透析不可能な場合はどこで透析を受けるのか、指示を受けます。避難所や医療救護所にいる場合には管理者に伝えること、自身が透析患者であること(手を挙げていただきたい)を伝え、透析医療機関との連絡状況等、透析が受けられない場合の支援の依頼をします。

区市町村の対応

避難所では、区市町村が透析患者さんの把握と支援を行うことがマニュアルに明記されています。区市町村が設置する避難所では、透析患者の情報を把握します。透析が受けられない場合は副ブロック長に受入可能な透析施設への対応を依頼します。避難所に設置された相談窓口では必要な患者支援を行い、生活上の相談・食事への相談に対応を行います。また、腹膜透析時のバッグ交換を行う場所や電源確保等を行います。



緊急時透析情報共有マッピングシステム

東京での情報伝達はメーリングリストやDIEMAS(左図)および日本透析医会災害時情報ネットワークなどにより行います。DIEMASは緊急時透析情報共有マッピングシステム(Dialysis Information in Emergency Mapping System)の略称で、東京、神奈川、埼玉で稼働しています。地図上に、透析施設の位置が表示されていますが、災害時には透析可否、受け入れの可否(人数)が表示

示されます。地図上で透析を必要とする患者さんと、受け入れられる施設とをマッチングさせ、透析ができない患者さんをなくすことを目的としています。発動基準には環境要因と組織要因があり、東京都内で震度6弱以上の地震が発生した場合などの災害時等に発動されます。

都外へ支援要請する場合

透析医療機関が透析患者個人票の作成し、副ブロック長を通して各ネットワークに連絡します。区部ネットワーク事務局及び三多摩ネットワーク事務局は患者情報をリスト化し、東京都透析医会を通じて都福祉保健局に報告します。

東京都透析医会は緊急度の判断（トリアージ）、受入先医療機関等との調整を行います。都福祉保健局は受入先自治体と調整、搬送体制の確保、宿泊施設等の確保・調整を行います。

都外からの透析患者の受入

都福祉保健局が情報の収集、受入可能な透析医療機関の把握（東京都透析医会等と調整）をし、受入可能か判断、被災自治体・東京

都透析医会に連絡します。また、患者搬送（東京都への搬送、都内の搬送）、宿泊施設の確保・割り振り、一時集合場所の確保を行います。

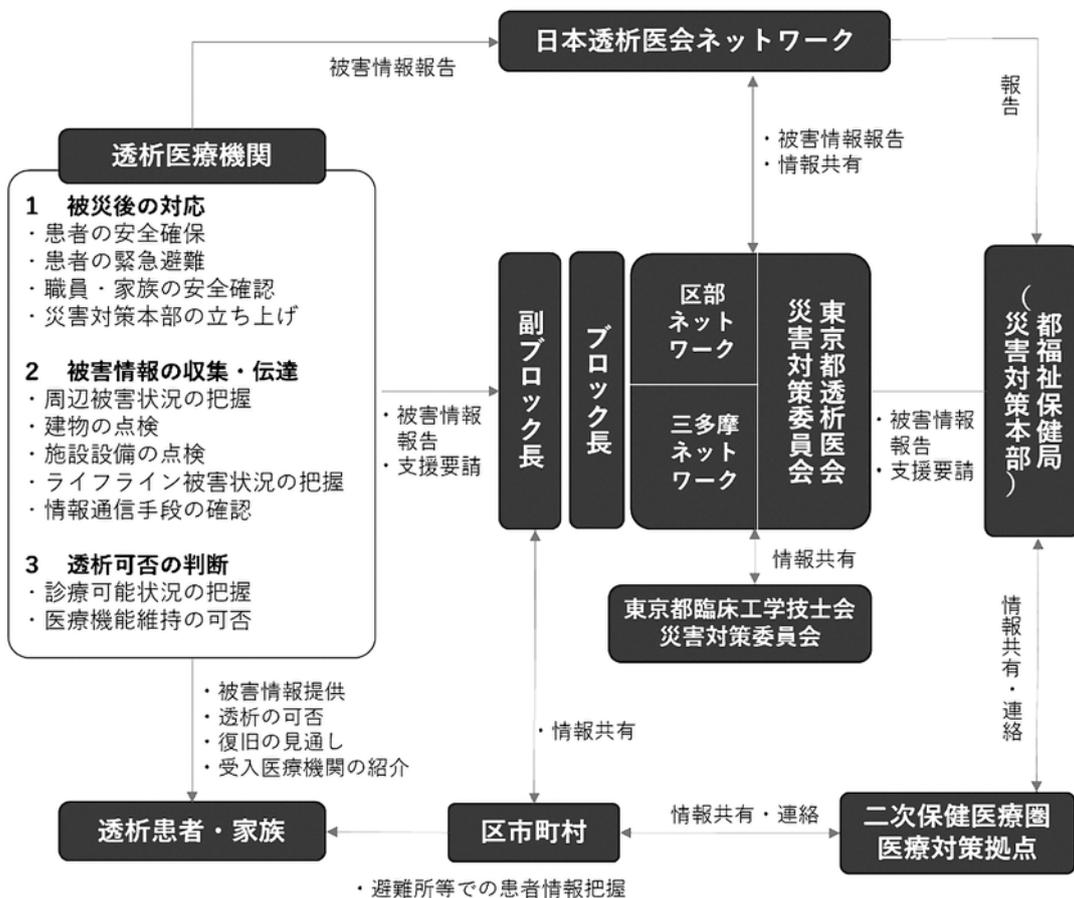
東京都透析医会はトリアージ（緊急透析が必要か、入院が必要かの判断）をして、宿泊施設からの通院を考慮し、受入透析医療機関の調整をします。

災害時の透析医療は、助け合いで成り立っています。災害時には、他の施設の患者さんが一緒に透析を受けることとなります。

第2章 透析医療機関の災害対策マニュアル

透析医療機関の平時の準備

災害対策委員会を設置し、災害時にいかに透析を継続するかを計画した、事業継続計画（BCP）、災害対策マニュアルを作成します。また、連絡網の整備、院内だけではなく、行政・インフラ、協力医療機関との連携、定期的な防災訓練とライフラインの点検、緊急時対応物品等の整備と設置、災害時に備えた患者さんとの連絡体制の構築、腹膜透析（PD）のメーカ



1との物品供給の情報共有を行います。

被災時に透析が可能な場合

被災時に透析可能な場合（可能な限り透析を提供する）は、受入可能患者数・貸出可能ベッド数の共有をします。患者対応としては、帰宅前に次回の予定を説明（連絡手段が限られている可能性があるため直接伝える）します。透析が不可能な場合は協力医療機関に受入れを依頼しますが、透析患者個人票作成し、副ブロック長へ支援依頼をします。マッチングは段階的に（区市町村、二次医療圏、区部・三多摩、東京都、広域）行います。腹膜透析（PD）患者への対応としては、PDメーカー・患者と密接な連絡をとります。

患者さんを受け入れる施設の対応 緊急透析が必要な患者さんを優先的に透析します。透析条件については、平素と変更になることをご理解ください。透析時間の短縮も考慮し、自施設の通院患者との時間調整を行います。薬や医療器材へのアレルギーの有無を確認し共有します。透析条件の簡素化を

し、ダイアライザ・ヘパリンは簡単な内容に統一（大小など）します。患者さんへの対応としては一刻も早く帰宅あるいは避難所へ戻れるよう治療します。帰宅までに、次回の透析の詳細について情報提供をします。

第3章 透析患者用マニュアル

各施設が作成する患者向けの手引きのひな型となるもので、平時の心得、災害時の対応が記載されています（左記参照）。災害時の食事の管理としては、水、塩分、カリウムのコントロール、カロリー不足に注意が必要です。

自分の身を守るための災害対策に関する情報収集
・ 避難所、避難場所の把握
・ 区役所の防災担当窓口の確認
・ ホームページ（区役所、東京都）
・ 東京防災（2015年9月に発刊）
・ 災害伝言ダイヤルの日頃からの練習をしておくといいたいです。
このマニュアルは東京都のホームページからダウンロードできますので、是非、ご覧いただきたいと思えます。

平常時の心得と災害時の対応

平常時の心得

- ・ 自分の身は自分で守る。（持ち出し品の準備）
- ・ 普段から地域との交流を保つ（避難・通院の援助などを依頼）
- ・ 災害時の連絡方法、緊急対応を把握する。
- ・ 通院先の施設で透析が受けられない場合、避難所の近くの施設を確認しておく。
- ・ 災害時の情報収集・情報連絡先を確認しておく。
- ・ 交通機関が使用できない場合の通院方法について考えておく。
- ・ 家族との意思疎通。（避難場所・連絡先を共有しておく）

血液透析中に災害が起きたとき

- ・ 自分の身の安全を守る
血液回路をしっかり握る（針が抜けないようにする）。ベッドの柵につかまって振り落とされないようにする。布団や毛布をかぶって、落下物を防ぐ。落ち着いて行動する。
- ・ 透析中止・避難指示が出たら、指示に従う
無断で行動しないでください。スタッフが安否確認のために探すことになり、避難に支障が出ます。避難所では穿刺部の消毒、傷の手当を受ける。
- ・ 帰宅の指示が出るまで待機してください。
次の透析予定など、今後の対応の指示を受けてから帰宅してください。

他の医療機関で透析を受けるときのために

- ・ 災害時透析患者カードの携帯
- ・ 重要な情報
薬などへのアレルギーの有無、ドライウエイト、血流量、ダイアライザー、抗凝固薬、穿刺部、特に人工血管の場合は血流の向き、内服薬、お薬手帳、血液データ（特のカリウム値）
- ・ 通院中の施設に連絡をする
避難場所、連絡方法、透析状況などを伝えます。

東京都の透析患者における市民公開講座（2022年3月26日）

配信をまた視聴したい！見逃してしまった！！

患者会、会員の皆さまへ

視聴方法

①パソコンから視聴する

東腎協のホームページへアクセス ⇒トップページ「東腎協からのお知らせ」をクリックすると、チラシ画面が開きますのでアドレスをクリックしてご覧ください。

②携帯・スマホから視聴する

携帯・スマホのカメラで、下記QRコードを読み込んでください。直接動画サイトへアクセスできます。

講演1 「透析患者における新型コロナウイルス感染症の現況と最新の話題」 約30分

座長：三多摩腎疾患治療医会 理事長 要 伸也 先生

演者：東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表世話人 菊地 勘 先生



QRコード

講演2 「災害に向けて皆さんにできること、災害時に皆さんが行うこと」 約30分

座長：東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表世話人 酒井 謙 先生

演者：東京都透析医会災害対策委員会 委員長 花房 規男 先生



QRコード

慢性腎臓病患者さんにこそ

必要な水溶性ビタミン

医療法人社団 韮生会 メディカルプラザ市川 駅

院長 佐中 孜

はじめに

水溶性ビタミンとはビタミンB群8種、すなわちビタミンB1（チアミン）、B2（リボフラビン）、ビタミンB3（ナイアシン）、ビタミンB5（パントテン酸）、ビタミンB6（ピリドキサル）、ピリドキサミン）、ビタミンB12（シアノコバラミン）とビタミンC、ビタミン、葉酸の9種類です。

慢性腎臓病患者さんの

水溶性ビタミン濃度

慢性腎臓病の保存期には蛋白質

制限のため肉、魚、卵、乳製品、豆類の摂取量が制限されます。透析療法期に入っても高カリウム血症予防のため、野菜、果物、海藻類なども制限されます。その結果慢性腎臓病の患者さんは、水溶性ビタミン含有量は不足しがちとなり、健康人の推定平均必要量、推奨量にさえ届かないこととなります。

しかも透析患者さんが受ける治療は週2〜3回の頻度で尿素窒素、尿酸、クレアチニン、β2ミクログロブリンなどを標的にしての除去治療です。ここに実は懸念すべき出来事が潜んでいます。と言う

のは、これらの除去対象物質と水溶性ビタミンは同じ分子サイズなので。すなわち、透析療法のために除去される可能性があるのです。

維持透析患者さんの水溶性ビタミン濃度

維持透析患者さんにとって水溶性ビタミン補給、水溶性ビタミンの血中濃度維持がいかに大切かについては稲本らの論文ⁱ⁾ ii) があります。ここで詳細に論述されており、是非一読されるとよいと思います。

水溶性ビタミン投与による死亡率の低下を透析療法の効果に関する臨床研究で確認

DOPPS 研究と呼ばれる透析療法の効果に関する臨床研究があります。ここでは水溶性ビタミンの補充により死亡率が統計学的に有意に低下する、すなわち寿命の延伸につながるものが大規模臨床研究で示されています。

ヨーロッパでは水溶性ビタミン

投与のガイドライン (European best practice guidelines on haemodialysis) が作成されているⁱⁱⁱ⁾です。

おわりに

水溶性ビタミンが関与する病態は実に多岐にわたります。それらの作用部位が体内の隅々までに行き渡っているからであり、とかく諦めにも似た気持ちで放置していた臨床病態が水溶性ビタミン欠乏という可能性を常に念頭に置く必要があると思います。

i) 稲本 元、加藤 学、水溶性ビタミン (経口薬と注射剤) による、透析患者の生命予後の改善。透析会誌 54(7):337-351, 202

ii) 稲本 元、加藤 学、腎不全、透析患者 水溶性ビタミンの欠乏とその補充。日本臨床栄養学会雑誌 日本臨床栄養学会雑誌 42(2):168-178, 2022

iii) Fouque D, Vennegoor M, Wee PT, et al. EBPg guideline on nutrition. Nephrol Dial Transplant 2007; 22: ii4587.

水溶性ビタミンの補給が勧められるのは下記のように多岐にわたります

部位	症状・注目すべき合併症
全身性	疲労感、倦怠感、体重減少、貧血、浮腫、易感染性、悪性腫瘍
中枢神経・末梢神経系	知覚障害、手足がしびれ、運動障害、幻覚、頭痛、注意力減退、短気。抑鬱、健忘症、認知機能低下、記憶障害、脳出血、尿毒症性神経障害、言語障害、感覚異常
消化器系	食欲不振、下痢、嘔吐、嘔気、低胃酸症、腹痛、消化管出血
四肢・筋・骨系	脱力、羽ばたき振せん、筋肉痛、腱反射の消失、筋肉内出血、関節内出血、歩行困難、骨老化、骨形成不全
脈管系	安静時の頻脈、動脈壁アテローム硬化、冠状動脈疾患、脳血管、末梢血管の粥状硬化
眼・耳科系	白内障、めまい
口腔系	口内炎、歯の象牙質形成不全
皮膚・粘膜系	肌が荒れ、乾燥肌、創傷治癒の遅延、境界明瞭な黒褐色の色素沈着と皮膚萎縮、日光に露出される皮膚の灼熱感と強い掻痒、皮疹、紅斑、水疱、糜爛形成、皮下出血、壊血病
尿路系	尿路出血

QOL向上委員会より

QOLとは「生活の質」「生命の質」をさします。

少しでもお手伝いできればと思います、東京歩こう会を開催してきました。一昨年よりコロナ禍で来ていませんでした。前回に引き続き、今回は第5回から第8回までの散歩コースを詳しくご紹介します。

深大寺近辺

第5回2019年4月7日(日)
参加者 34名

第5回は深大寺近辺へ、朝10時に調布駅を出発し水木しげるロードでゲゲの鬼太郎のキャラクターを探しながら布多天神社へ、この神社の近くには、鬼太郎が住んでいるかもしれない森がある有名な神社です。

*水木しげるロードに、鬼太郎と目玉親父、ねずみ男、ネコ娘と一反もめん、ぬりかべのモニユメントがあります。

次の目的地に向かうために野川沿いにあるいたのですが、桜が満開でとても綺麗でした。皆さん何

回も立ち止まりながら桜の写真を撮る人が多かったです。川岸では、地元の人達がバーベキューをしていました。

*野川は一級河川であり、国分寺の日立製作所中央研究所内に水源がある。



次に神代植物公園に向かい、その後一時間の自由行動 休む人、園内にある大温室に行く人がいました。植物公園を楽しんだ後、植物公園の深大寺門から出て鬼太郎茶屋向いの広場に集合してその場で解散となりました。この日コースは、午前中で終了。午後から希望者のみの参加で、地元ボランティアガイドの説明を聞きながら一

時間程度散策をしました。

*神代植物公園は障害者手帳で無料です(付き添いの方も)。

因みに調布駅から深大寺まで約2・1kmです。調布駅からはバスも出ています。吉祥寺駅から深大寺までは約6・7km。また三鷹駅から約5・4kmです。両駅からバスも出ています。

*御存知の方も多いと思います。2010年放送、朝ドラの「ゲゲの女房」のロケ地として使用され、出演者の向井理さん、松下奈緒さんもお蕎麦屋さんを利用していたとか(神代植物園から深大寺に出るところのすぐの蕎麦店の方が話していました)。

皇居東御苑と皇居外苑

第6回 2019年6月16日(日) 31名参加

大手門を10時に出発、入口で手荷物検査を受け同心番所、百人番所、大番所を通り天守台へ。天守台からは、南側に丸の内ビル群が見え、北側には武道館のたまねぎの形をした屋根が見えました。

天守台からの風景を見たあと梅の名所梅林坂へここには梅の木が50本も植えられています。梅林坂を

散策した後、二の丸庭園で休憩。休憩の後皇居外苑を通り和田倉噴水公園で持参したお弁当を広げて昼食タイム。

*東御苑は昭和43年10月1日より公開され、無料です。広さは21万㎡の庭園。中には都道府県の木が植えてある区域があります。自分の県の木を探して見れば。



このコースははだいたい90分のコースを2時間かけて回りました。参加者の内から今日歩いた歩数が1万3千歩も歩いた人がいました。午後からは、体力が残っている人は、皇居外苑を散策、桔梗門前から坂下門そして皇居前広場を歩いて一番人気の観光スポット二重橋を見てその後皇居外苑管理事務所前の楠木正成像まで40分歩きこ

の日のコースは、終了解散。

* 皇居前広場は江戸時代には諸大名の屋敷や馬場や厩舎が置かれて居た所です。昭和24年4月から一般に広く開放されている。また、二重橋は正門と皇居に架かる再建された鉄橋である。

大田区洗足池周辺

第7回 2019年9月1日 (日) 27名参加

午前10時30分東急大岡山駅前出発。今回のコースは、洗足池を一周して元の駅戻るコースでした。

大岡山北口商店街を抜けて清水窪弁財天へ、清水窪は洗足池の水源の一つです。清水窪弁財天を参拝した後洗足池へ移動洗足池に近づくと木が沢山生い茂って歩いてとても気持ち良かったです。
* 清水窪弁財天は創建が江戸時



代初期から中期ごろのもの。

暑さのため少し疲れていらっしやる方達がいたので、公園内にある無料休憩所で10分ほど休憩。そこで参加者全員の記念写真を撮りました。

↓ 洗足池弁財天をお参り。

↓ 西郷隆盛留魂碑

↓ 勝海舟夫妻のお墓 (近くに勝海舟記念館があります)

3か所を回った後昼食休憩。

午後からは

↓ 池月橋を渡り千束八幡神社でお参り

↓ 出発地である大岡山駅に向かって出発

* 洗足池は仏僧の日蓮上人が池上寺へ向かう途中、ここで足を洗ったという言い伝えにちなんで名づけられた。北千束の清水窪湧水などを主な水源とする淡水池。

帰り道に、東京工業大学の広いキャンパス内(校舎内に入らなければ自由に通って良い)を通って大岡山駅に到達。大岡山駅にて解散。

* 東京工業大学は1929年に設置された国立大学です。理学系、工学系に加え情報系、バイオ系、社会・経営系をカバーする理工系

総合大学。ノーベル化学賞の白川英樹、ノーベル生理学・医学賞の大隅良典さんが教授をしている。キャンパスは、横浜、田町にもある。

六義園 (駒込 巣鴨) 近辺

第8回 2019年12月8日 (日) 30名参加

午前10時JR駒込駅前の染井吉野桜記念公園に集合

↓ 六義園

紅葉が一番綺麗な時期だったので、赤や黄色と緑が織りなす溜め息の出るような美しさに一同大感激しました。

美しい庭園を一時間余りかけてゆっくり歩きながら見学しました。

* 六義園(りくぎえん)は岩崎弥太郎氏(三菱創設者)の所有だったのが昭和13年に東京市に寄付され一般公開されることになった。

開園日は昭和13年10月16日

二つ目の目的地巣鴨地蔵通り商店街に向かい、観光客や地元の人達で混雑する中を江戸六地蔵のひとつ真正寺を参拝し、多くの土産物や名物の塩大福屋など見ながら、とげぬき地蔵で有名な「高岩寺」へ。

* 巣鴨地蔵通り商店街は約20

0店が軒を連ねる。中仙道沿いの街として江戸中期から栄え明治24年に高岩寺が移転してから信仰の街として親しまれる。塩大福が有名。因みに六義園から巣鴨までは約2kmで、徒歩約25分かかります。高岩寺でガイドの方からとげぬき地蔵の由来など興味深い説明をしていただきました。その後、いつもより早くこの場で解散しました。



前回と合わせて今まで回った8コースいかがでしたか。

コロナが落ち着いたらまた歩こう会を再開したいと思っています。再開後のことを考えてQOL向上委員会は、新しいコースを委員全員で、考えていきます。皆さん楽しみにしててください。

QOL向上委員会 松本茂利

東腎協元会長(現理事) 榊原靖夫さんを偲んで



優れた行動力と人脈作り

会長 戸倉 振一

榊原靖夫さんが本年1月にご逝去されました。NPO法人東京腎臓病協議会(東腎協)会員を代表し心からご冥福をお祈り申しあげます。

榊原さんは、1999年より東腎協役員として活動に参加され、2003年から2009年は第9代会長として東腎協で中心的な役割を果たされました。会長退任後も副会長などを歴任され、ご逝去された本年1月まで腎臓病患者や人工透析患者の療養環境の整備・

向上を目指し患者会活動にご尽力いただきました。活動は東腎協に留まらずNPO法人東京難病団体連絡協議会(理事長)、一般社団法人日本難病疾病団体協議会(副代表)、NPO法人腎臓サポート協会(理事)、一般社団法人全国腎臓病協議会(理事)など加盟団体や関係団体でも中心的な役割を果たされ、腎臓病だけでなく難病患者や障害者の療養環境やQOLの向上にもご尽力いただきました。

榊原さんは、持ち前の行動力と人脈作りに優れておられ、患者会活動でも大いに力を発揮されました。特に行政(都や厚生労働省)や議員(都議会議員や国会議員)等への要請活動では、先頭に立たれ存分に力を発揮され、腎臓移植普及推進と啓発を目的としたパレードや東腎協の記念事業等では、芸能人も参加するなど幅広い人脈を日の当たりにしました。また、いつも全力で活動されることから他の役員等と意見が異なりぶつかり合うことも多々ありましたが持ち前の力強さと明るさで乗り越えてこられました。

ただ榊原さんも人工透析治療を行う腎臓病の当事者であり、近年

は長期透析の合併症などで大変苦勞をされていきました。昨年の暮れからは治療のために入院し手術を行い、術後は復帰を目指しリハビリに取り組みられていきました。術後の体調が思わしくなく大変つらいリハビリを行われていたと伺っておりましたが、残念ながら復帰への願いがかないませんでした。

にもご尽力いただきました。併わせて近年はNPO東京難病団体連合会の理事長として難病患者団体の取りまとめ役としての大変重要なお仕事を担ってこられました。この一年余り闘病のために入退院を繰り返され、この間私が東難連理事会にオブザーバーとして参加させていただきました。来年度からは榊原さんの後任として私が理事に推薦されることとなりました。甚だ役不足ですが東難連の発展に少しでもお役に立ちたいと思います。

ご指導、ご厚誼に感謝します

副会長 古暮 宏

榊原さんとは私が東腎協理事になってから4年余りの短い年月のお付き合いでしたが、この間理事会、政策行政委員会を通じてご指導、ご厚誼をいただきました。本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

榊原さん永年にわたり透析患者、難病患者会員ののためにご尽力くださったお疲れ様でした、有り難うございました。どうぞ安らかにお眠り下さい。ご冥福をお祈り致します。

榊原さんは東腎協会長、副会長という要職を長年務められ東腎協の発展に多大な貢献をされました。また、全腎協理事として今日の大変手厚い透析医療制度の確立



榊原 靖夫(さかきばら やすお) 2022年1月7日逝去。享年79歳。
1999年～2022年東腎協理事、2003年～2009年東腎協会長、2015年～2020年全腎協理事・JPA理事、2018年～2021年東難連理事長、腎臓サポート協会理事

「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業(株)東京第一支店様

「青い鳥ハガキ寄付御礼」

《患者会》

織本病院腎友会、阿佐谷すずき腎友会

ご寄付ありがとうございました

「国会請願署名・募金御礼」

《患者会》

秋葉原腎クリニック腎友会、大島腎友会、大田病院腎友会、小笠原クリニック友の会、腎内科クリニック

ック世田谷患者友の会、聖橋クリニック腎友会、虎の門・高津会(本院)、代々木病院腎友会、勝和なごみ会、新小岩クリニック友の会(新小岩・船堀)、新江東橋クリニック腎友会、親水クリニック友の会、清湘会記念病院腎友会、東葛クリニック小岩患者会、西クリニックひまわり会、深川橋クリニック腎友会、瑞江クリニック腎友会、森山友の会、柳原腎クリニック健腎会、あかまつ透析クリニック患者会、阿佐谷すずき腎友会、高松医院腎友会、中野共立病院腎友会、絆の会、練馬桜台クリニックさくら会、桃井診療所腎友会、優人クリニック患者会、昭島腎クリニックひまわり会、あけぼのクリニックいちよう会、あけぼの東

腎会サルビア、織本病院腎友会、吉祥寺あさひ腎友会、ふれあい相互クリニック希望会、立花クリニック友の会、長久保ハナミズキ会、永山腎友会、八王子東町クリニック桑の実会、羽村相互診療所たんぽぽの会、日野クリニック腎友会、平山腎友会、府中けやき会

《個人会員》

新村敏明、今関慧子、南波成子、安斉和栄、飯塚繁、荒井千佳、末崎美子、小山康子、龍野裕通、岸本敦、萩原高、松川弘、菊地洋子、反田和男、高野太郎、内田利男、宮澤克人、伊藤清、木村ゆき、末木秀治、友道国靖、佐藤陽子、榊永照也、石山久美子、永田淑子、木村初恵、稲生義文、金子智、小平敬明、白坂徹夫、糸賀久夫、山辺静枝、青木厚子、伊藤勝之、遠藤一男、高橋雍子、島田範子、佐藤由之、白銀榮子、南澤孝志、関芳喜、佐々木実樹、根津恵子、福島昌昭、阿久津秀雄、市原銀、匿名希望他

「切手類ご寄付御礼」

*会員皆さまよりご寄付をいただきました使用済み切手につきまして、1月にまとめて豊島ボランティアセンターへご寄付をさせていただきますましたところ、としまボランティアセンターだより2月号にNPO法人東京腎臓病協議会として掲載されましたこと、ご報告をさせていただきます。たくさんのご寄付ありがとうございました。

「青い鳥はがき」の

無償配布にご協力ください

「青い鳥郵便はがき」は、日本郵便(株)が身体障害者及び知的障害者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的とし、無償で配布しています。東腎協では、会員の皆様から「青い鳥郵便はがき」のご寄付をいただき、東腎協財政の一助になるようにご協力を願っております。

◎受付期間

2022年4月1日(金)から同年5月31日(火)まで

◎配布期間

2022年4月20日(水)以降

今後の活動予定

- 4月17日(日) 第175回理事会
- 4月17日(日) 政策行政委員会(午前中)
- 4月24日(日) 全腎協第33回通常理事会
- 5月23日(日) 第176回理事会
- 6月5日(日) 東腎協第17回総会(東京都障害者福祉会館・田町)(予定)
- 6月12日(日) 50年史編集委員会
- 6月18日(土) 全腎協2022年度全国総会(予定)
- 6月19日(日) 全腎協創立50周年記念式典(予定)
- 6月26日(日) 第177回理事会
- 7月24日(日) 第178回理事会

《賛助会員》(敬称略)
南青山内科クリニック、あかつき印刷株式会社
たくさんの署名・募金ご寄付ありがとうございました。

1. お申し込み方法

(1) 窓口での申込方法

窓口で配布の希望を申し込みます。窓口で配布の希望を申し込みます。郵便局(簡易郵便局を除きます。)に身体障害者手帳をご提示の上「青い鳥郵便葉書配布申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。なお、代理人によるご提出も可能です。

(2) 郵送でのお申し込み方法

郵送により配布の希望の申し込みをする場合は、適宜の用紙に「青い鳥郵便葉書配布申込書」と同等の内容を記入し身体障害者手帳の写しとともに最寄りの郵便局にご郵送ください。

なお、手帳の写しは、手帳の種類、級別または程度、氏名及び住所が確認できる頁をお送りくださいますようお願いいたします。

(3) 配布方法

2022年4月20日(水)以降、最寄りの配達を受け持つ郵便局からお届けされます。郵便局の窓口ではお渡ししておりませんのでご注意ください。

前号のお詫び

○冬号「2022年賀名刺広告」で以下の賛助会員様の名称に誤り

がございましたのでお詫び致します。

(誤り) 医療法人社団松岳会 東

武練馬クリニク

(訂正) 医療法人社団松岳会 東

武練馬クリニク

編集後記

○コロナも感染者が高止まりでなかなか収束しない。世の中はwithコロナでスポーツ観戦も旅行も飲食も以前の様相に戻った。入院病床、ワクチン、治療薬等が確保されるならそれも一つの選択肢なのかもしれない。透析患者は自己管理・防衛で乗り切るしかないのだろうか。

○新年度が始まった。3年振りの対面式諸行事は無事に開催されるだろうか、事務局としては準備だけは怠らないようにしたい。中でも50周年事業の「記念式典」「記念誌発行」「会員実態調査」は東腎協あげて取り組まなければならぬ事業だ。気を新たに取組む覚悟です。

○ロシアのウクライナ侵略が止まらない。あの「Z」マークを見ると「H」のナチスを連想してしま

う。テレビのニュースでは、プーチンの国内支持率は80%超え、ロシア国民は「西側の報道はフェイクニュース」と口々に侵略を正当化する。今の時代に、この報道を見て理解に苦しむのは私だけだろうか。地球上ではいつの時代でも紛争が絶えない。私はいかなる理由でも戦争は反対だ。(板橋)

〈事務局雑感〉

○野良猫の事を書きます。私の住んでいるマンション及び一軒家の周りに住み着いていたネコが2月中旬に亡くなった。グレーと白のネコでかわいい顔をしていて、十数年にわたって観察していた。我が家では「トトロ」と名づけていた。後から来た黒いネコ(黒ちゃんと呼んでいた)に地位を逆転されてしまった。よく2匹で現れていた。

トトロは警戒心が強く常に、すぐ逃げられる体勢をとっていた。車に爪で傷をつけられる事もあったが、可愛かった。黒ちゃんが居なくなり、一匹になってからあまり人前に出てこなくなった。

2月6日の朝、久しぶりに長時間、日向ぼっこしている姿を見て思わず写真を撮った。それから数

日後に亡くなった。動物好きの人が庭先に用意しておいた毛布に、くるまっていたそうだ。十数年も見守ってきただけにとても寂しい。新しい野良猫ちゃんが現れるのを待っているのだが。(三好)

○4月7日、今年が目標其の壱「Tシャツが似合う体」開始です。錆びついた身体(身長174cm、体重84kg)に負荷をかけるべく筋トレを始めました。目標は15kg減の67kg。メニュー等も書くとは長くなりますので省きます。

4月6日、東京で21・8度を記録し、上着を脱いでいる方が目立ちました。なかにはTシャツ一枚で気持ちよさそうに歩いている若者の姿もあり「Tシャツ一枚羨ましいなあ。」コレが「今年が目標其の壱」キッカケに。

身体のラインが気になり、猛暑でもTシャツの上に着を着て汗だくで過ごす夏は毎年のこと。「Tシャツ1枚」での外出には憧れと嫉妬の気持ちも半々も(笑)

こんな感じでスタートした今年が目標其の壱。10月に予定している東腎協50周年記念式典の時には「Tシャツが似合う体」になっていたら嬉しいなあ。(松山)

1. お申し込み方法

(1) 窓口での申込方法

窓口で配布の希望を申し込みます。窓口で配布の希望を申し込みます。郵便局(簡易郵便局を除きます。)に身体障害者手帳をご提示の上「青い鳥郵便業書配布申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。なお、代理人によるご提出も可能です。

(2) 郵送でのお申し込み方法

郵送により配布の希望の申し込みをする場合は、適宜の用紙に「青い鳥郵便業書配布申込書」と同等の内容を記入し身体障害者手帳の写しとともに最寄りの郵便局にご郵送ください。

なお、手帳の写しは、手帳の種類、級別または程度、氏名及び住所が確認できる頁をお送りくださいますようお願いいたします。

(3) 配布方法

2022年4月20日(水)以降、最寄りの配達を受け持つ郵便局からお届けされます。郵便局の窓口ではお渡ししておりませんのでご注意ください。

前号のお詫び

○冬号「2022年賀名刺広告」で以下の賛助会員様の名称に誤り

がございましたのでお詫び致します。

(誤り) 医療法人社団松岳会 東

武練馬クリニク

(訂正) 医療法人社団松岳会 東

武練馬クリニク

編集後記

○コロナも感染者が高止まりでなかなか収束しない。世の中はwithコロナでスポーツ観戦も旅行も飲食も以前の様相に戻った。入院病床、ワクチン、治療薬等が確保されるならそれも一つの選択肢なのかもしれない。透析患者は自己管理・防衛で乗り切るしかないのだろうか。

○新年度が始まった。3年振りの対面式諸行事は無事に開催されるだろうか、事務局としては準備だけは怠らないようにしたい。中でも50周年事業の「記念式典」「記念誌発行」「会員実態調査」は東腎協あげて取り組まなければならぬ事業だ。気を新たに取る組む覚悟です。

○ロシアのウクライナ侵略が止まらない。あの「Z」マークを見ると「H」のナチスを連想してしま

う。テレビのニュースでは、プーチンの国内支持率は80%超え、ロシア国民は「西側の報道はフェイクニュース」と口々に侵略を正当化する。今の時代に、この報道を見て理解に苦しむのは私だけだろうか。地球上ではいつの時代でも紛争が絶えない。私はいかなる理由でも戦争は反対だ。(板橋)

〈事務局雑感〉

○野良猫の事を書きます。私の住んでいるマンション及び一軒家の周りに住み着いていたネコが2月中旬に亡くなった。グレーと白のネコでかわい顔をしていて、十数年にわたって観察していた。我が家では「トトロ」と名づけていた。後から来た黒いネコ(黒ちゃんと呼んでいた)に地位を逆転されてしまった。よく2匹で現れていた。

トトロは警戒心が強く常に、すぐ逃げられる体勢をとっていた。車に爪で傷をつけられる事もあったが、可愛かった。黒ちゃんが居なくなり、一匹になってからあまり人前に出てこなくなった。

2月6日の朝、久しぶりに長時間、日向ぼっこしている姿を見て思わず写真を撮った。それから数

日後に亡くなった。動物好きの人が庭先に用意しておいた毛布に、くるまっていたそうだ。十数年も見守ってきただけにとても寂しい。新しい野良猫ちゃんが現れるのを待っているのだが。(三好)

○4月7日、今年が目標其の壱「Tシャツが似合う体」開始です。錆びついた身体(身長174cm、体重84kg)に負荷をかけるべく筋トレを始めました。目標は15kg減の67kg。メニュー等も書くとは長くなりますので省きます。

4月6日、東京で21・8度を記録し、上着を脱いでいる方が目立ちました。なかにはTシャツ一枚で気持ちよさそうに歩いている若者の姿もあり「Tシャツ一枚羨ましいなあ。」コレが「今年が目標其の壱」キッカケに。

身体のラインが気になり、猛暑でもTシャツの上に上着を着て汗だくで過ごす夏は毎年のこと。「Tシャツ1枚」での外出には憧れと嫉妬の気持ちも半々も(笑)

こんな感じでスタートした今年が目標其の壱。10月に予定している東腎協50周年記念式典の時には「Tシャツが似合う体」になっていたら嬉しいなあ。(松山)

透析と介護 ふたつの安心

介護施設への
 入所が困難だった
 透析患者の方に
グッド・ニュース

画期的な試みとして注目される介護施設内での人工透析

社会福祉法人むつみ会春陽苑は、介護老人福祉施設に医療施設「にこにこクリニック」を開設しており、介護と医療の両方から高齢者の方に安心をご提供しています。特に介護が必要な高齢の透析患者の方に、入所して介護を受けながら、人工透析室で、透析を受け生涯を過ごしていただくという画期的な取り組みは、全国でも例を見ないもので、現在注目を集めています。

また、24時間スタッフによる医療・介護の管理の下透析を行った結果、通常の透析患者に比べて状態がとても良好で、特養での管理の下で行う透析の効果があることもわかってきました。春陽苑は、介護が必要な透析患者の方にも、出来る限り透析を継続していただき、生きる喜びと輝きを持ち続けていただくことを願っています。

人工透析機を
 常設！



▶透析室



▶個室



▶春陽苑全景



▶診察室

施設概要

●介護老人福祉施設

入所定員：124床(ショートステイ含む)
 事業内容：【入所事業】介護老人福祉施設
 短期入所生活介護
 【在宅事業】通所介護・在宅介護支援センター・居宅介護支援事業

●桜木支所

事業内容：居宅介護支援事業・地域包括支援センター
 訪問介護

●春陽苑にこにこクリニック

診療科目：内科・脳神経外科・腎臓内科・人工透析内科・皮膚科・精神科

●介護老人保健施設 Lilyナーシングルーム

入所定員：100床(ショートステイ含む)
 事業内容：【入所事業】介護老人保健施設
 短期入所療養介護
 【在宅事業】通所リハビリテーション
 訪問リハビリテーション
 【障害福祉サービス事業】短期入所

入所料金 入所される方の生活状況により利用料が異なります。

参考事例：介護老人福祉施設春陽苑へ入所 要介護3(1割負担)の場合 (単位：円)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
多床室	45,630	59,430	67,230	104,580

※保険単位数を基に少数を含む計算を行う為、実際の金額と異なる場合があります。 ※この他に電化製品を利用される方は1点につき、電気代額と誤差が生じる場合があります。 ※上記の金額には、食費、日用品費、居住費、及び、体制加 ※医療費は別にかかります。 ※算等が含まれています。

アクセス



●JR大宮駅西口から西武バス「ららぽーと富士見行」または「所沢駅東口行」で「治水橋堤防」下車、徒歩3分
 ●JR埼京線指扇駅よりタクシーにて10分
 ●東武東上線 上福岡駅よりタクシーにて13分
 ●お車の場合は
 新大宮バイパス→三橋(3)の交差点を左折→県道56号線に入る→治水橋を越え一つ目の信号を左折し荒川沿いの建物

【見学随時募集中】
 相談
 ダイヤル
TEL:048-625-0707

〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 FAX:048-625-0755

ホームページのお問い合わせフォームもご利用ください。

<http://www.mutsumikai.net>

透析 春陽苑 で 検索 !